

ダイワコーポ、会社説明会

27年卒学生対象に

倉庫業の役割伝える



ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は8日、2027年卒の学生を対象とした会社説明会を開いた。社長直下で運営される採用プロジェクト「和く和く（わくわく）」

くプロジェクト（PJ）が企画・運営する「等身大対話型」の採用イベントで、学生50人以上が参加する中、倉庫業の役割や働く意義を伝えた。

会場には各営業所の紹介パネル、取扱商品の展示のほか、初めての試みとして

「どんな社風で、誰と仕事をしたいかを重視して会社選びをしてほしい」と曾根社長

PJメンバーが想像したダイワコーポと倉庫業の未来をイラストにしたビジョンマップを作成。メンバーはビジョンマップがデザインされたオリジナルTシャツを着用して参加した。

曾根社長は「今の就職活動は情報が氾濫（はんらん）していて、自分に合う仕事を探すのが難しい時代になっている。どんな社風で、誰と仕事をしたいかを重視して会社選びをしてほしい」と就職活

動中の学生たちを激励した。

同PJは、入社3年目までの若手社員で構成され、25年度で12代目。会社説明会の企画立案、運営、司会や広報制作、倉庫見学会の実施を若手社員が担うことで、採用活動が社員育成の場になる。また、企業が一方的に説明する形式ではなく、社員と対話することで「会社」と「働く人」を学生に伝えることができる。倉庫業務を疑似体験できるグループワークや、複数の社員と話せる座談会など、学生に倉庫業の役割や働き方、社員の雰囲気や考え、「ダイワコーポらしさ」が伝わるよう工夫を凝らした。

（田中寛之）